

水源の状況と天候の見通し (12月～2月)

1	東海地方の天候 (11月)	1
2	ダム地点の降水量 (11月)	1
3	水源の状況と天候の見通し.....	2
	(1) 水源の状況.....	2
	(2) 東海地方の3か月予報 (12月～2月)	4

令和5年12月5日

(公財) 愛知・豊川用水振興協会

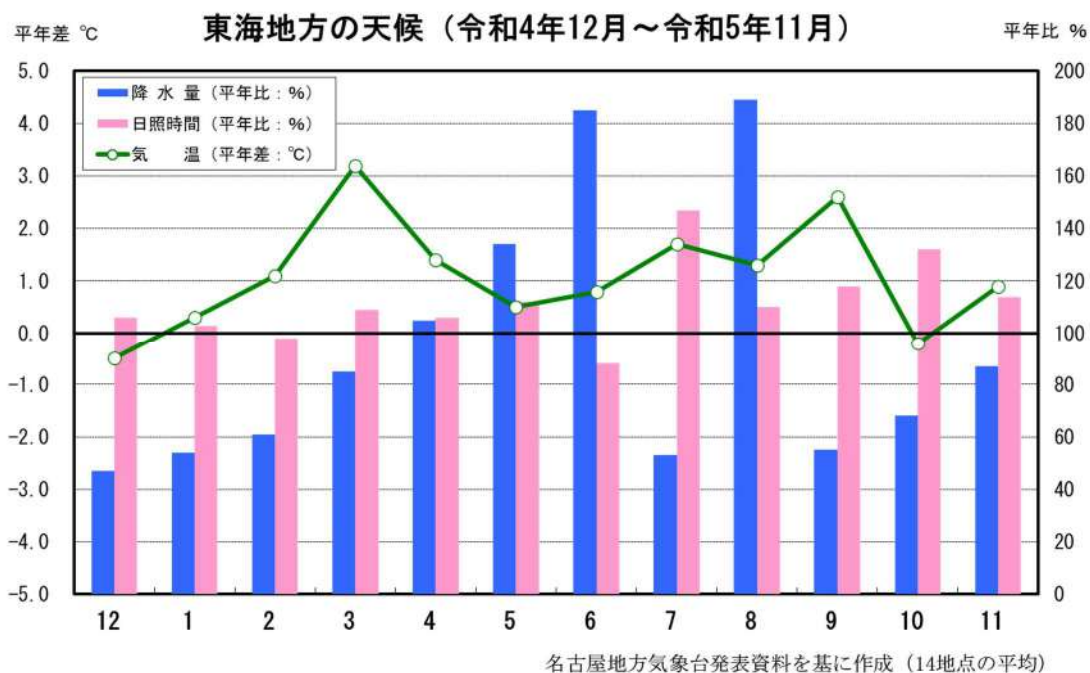
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

1 東海地方の天候(11月)

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりましたが、上旬は記録的な高温となった一方、中旬は寒気の影響で気温がかなり低くなった日があり、寒暖の変動が大きくなりました。

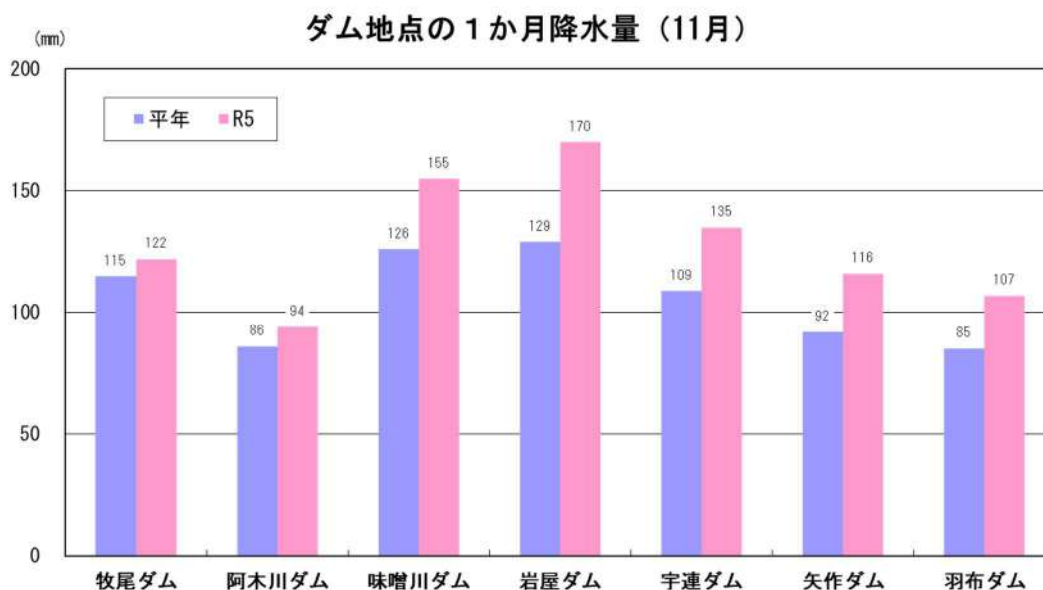
月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

(名古屋地方気象台 令和5年12月4日発表資料を基に作成)



2 ダム地点の降水量(11月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比121%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和5年11月30日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧ください。

「あいとよネット」で検索
[\(https://www.aitoyo.or.jp/\)](https://www.aitoyo.or.jp/)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R5. 11. 30

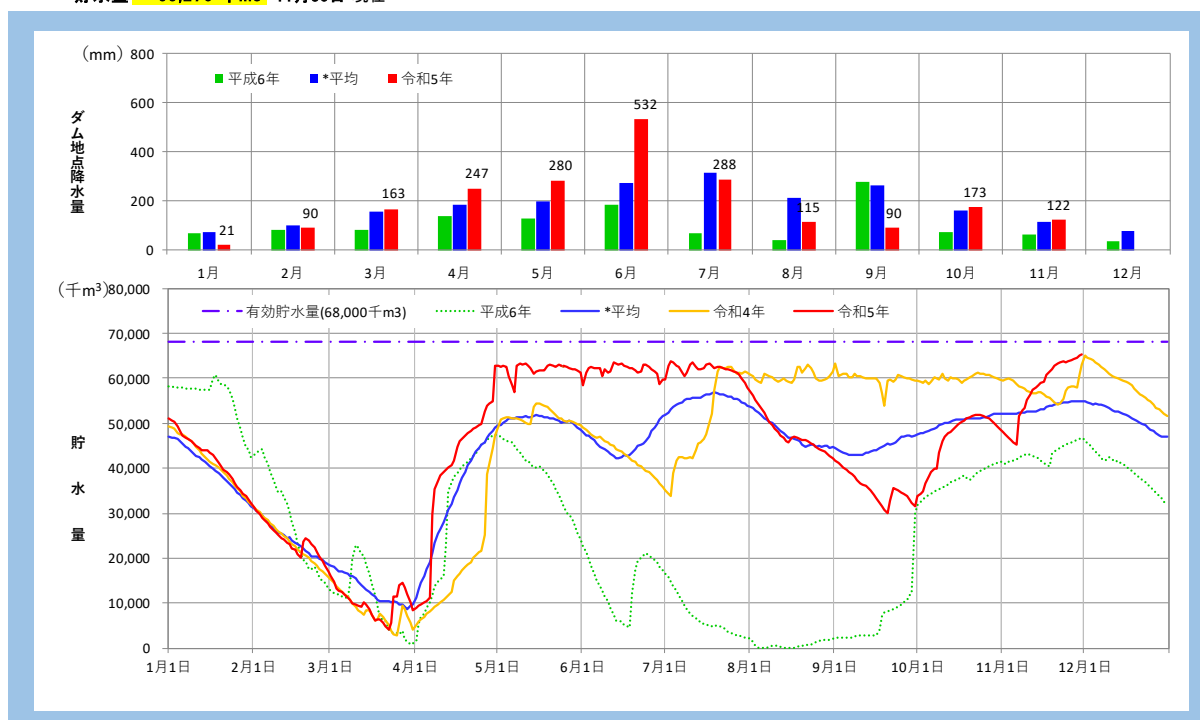
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	65,276	96.0	80.8	+ 15.2
阿木川ダム	22,000	18,486	84.0	90.9	△ 6.9
味噌川ダム	31,000	25,402	81.9	96.4	△ 14.4
岩屋ダム	61,900	61,900	100.0	95.1	+ 4.9
豊川水系					
宇連ダム	28,420	17,811	62.7	74.2	△ 11.5
豊川用水全体	51,820	38,212	73.7	83.6	△ 9.9
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	25,000	38.5	52.0	△ 13.5
羽布ダム	18,461	14,641	79.3	69.2	+ 10.1

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **65,276 千m3** 11月30日 現在

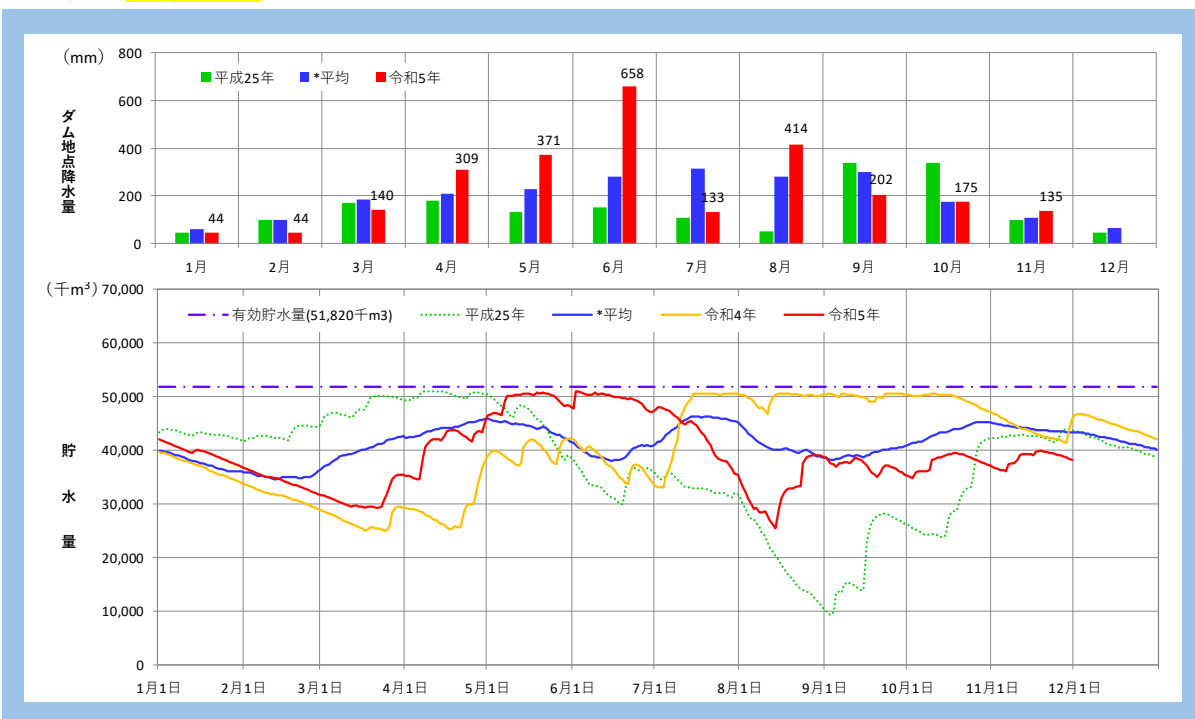


*平均: 昭和37年1月から令和4年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

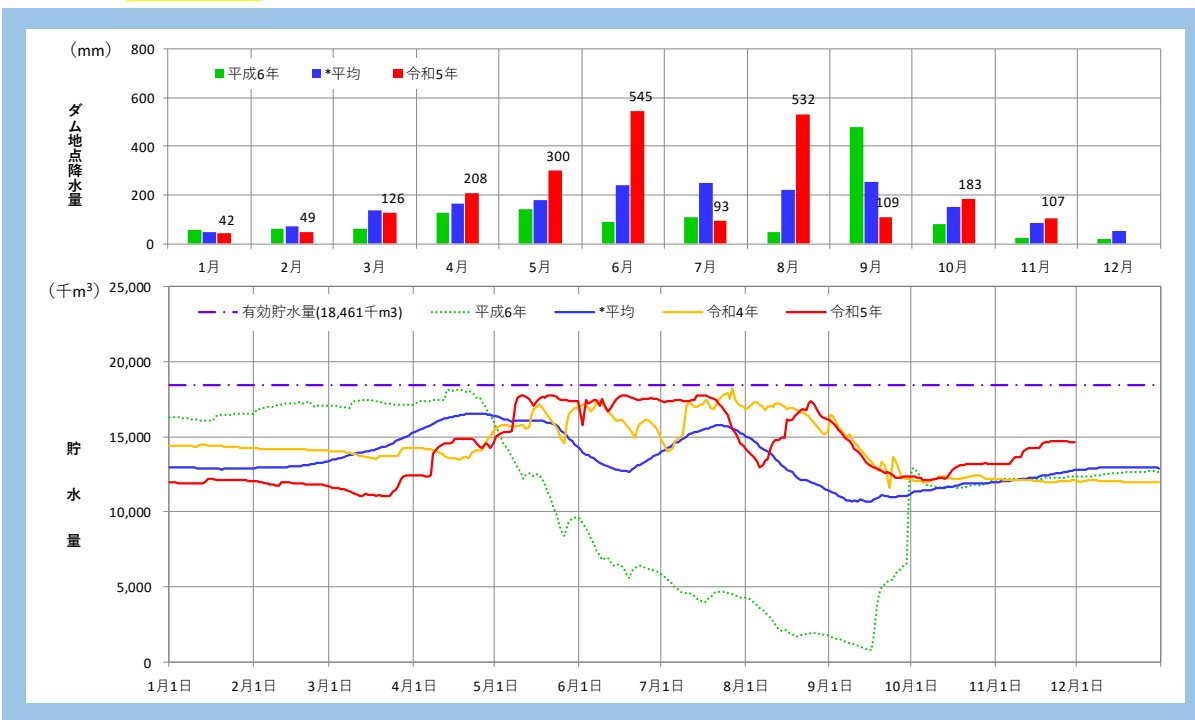
貯水量 **38,212 千m³** 11月30日 現在



*平均: 平成14年4月から令和4年12月(雨量は昭和43年4月から令和4年12月)
 (データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **14,641 千m³** 11月30日 現在



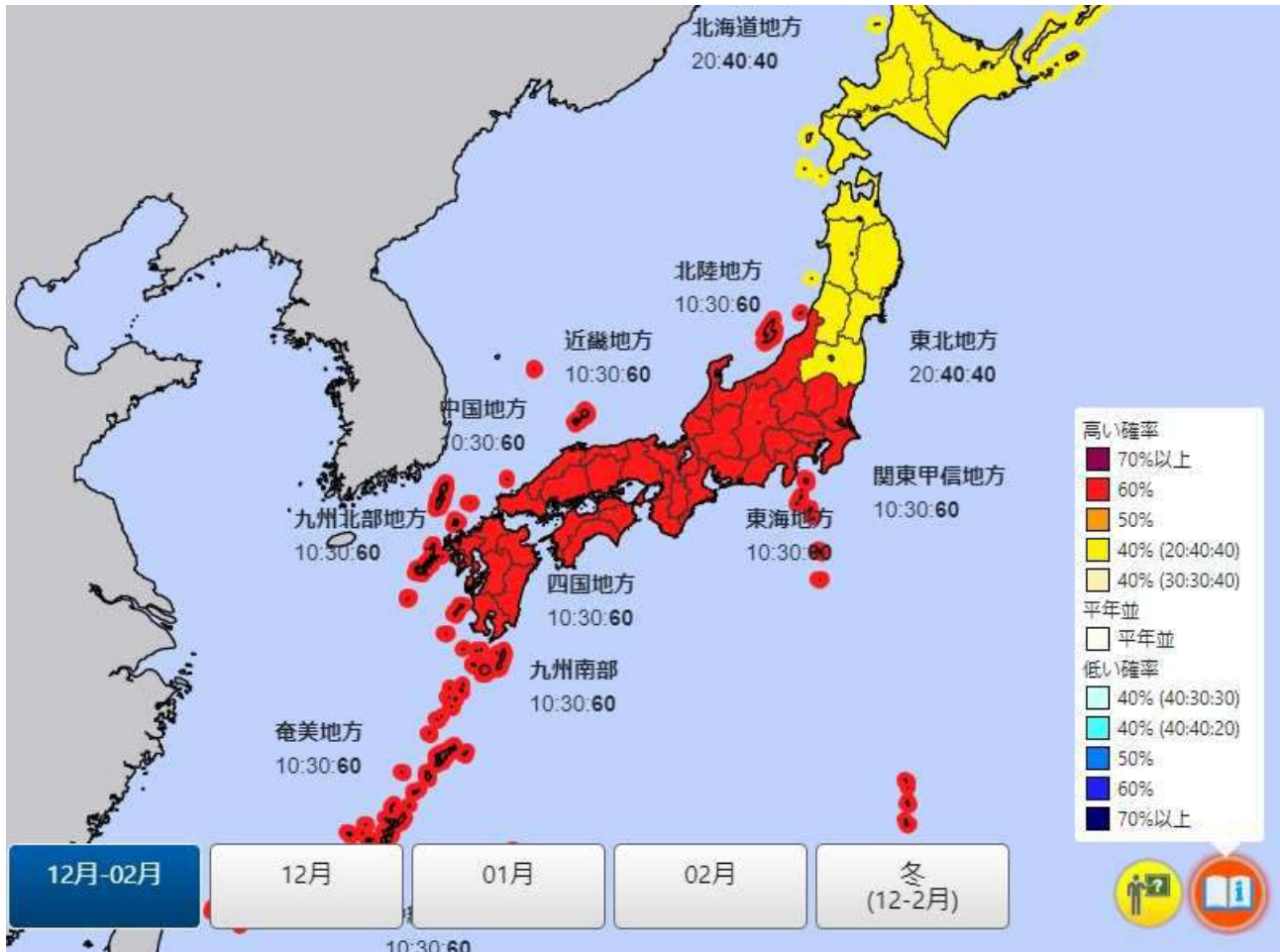
*平均: 昭和39年1月から令和4年12月
 (データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(12月~2月)

(名古屋地方気象台 令和5年11月21日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(12月~2月)の平均気温は、下図のように、低い確率が10%、平年並が30%、高い確率が60%の予報となっています。

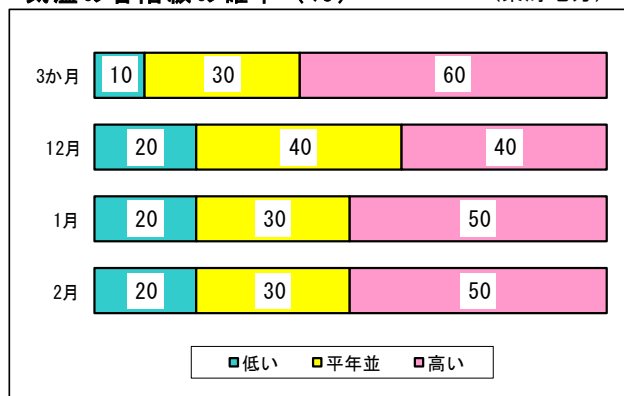


同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+4]、12月は[+2]、1月、2月は[+3]となります。

気温の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

気温	等級	予報確率	3か月	12月	1月	2月
高い	+5	: :70				
	+4	: :60	●			
	+3	: :50			●	●
	+2	20:40:40		●		
	+1	30:30:40				
平年並	0					
	-1	40:30:30				
低い	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				

② 降水量

東海地方の3か月全般（12月～2月）の降水量は、下図のように、少ない確率が20%、平年並が40%、多い確率が40%の予報となっています。

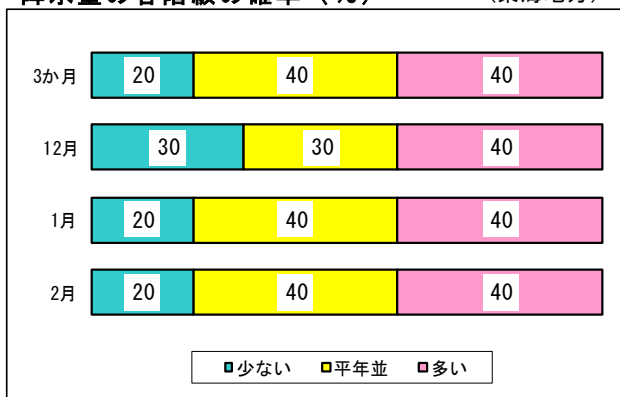


同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[+2]、12月は[+1]、1月、2月は[+2]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	12月	1月	2月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40	●		●	●
	+1	30:30:40		●		
平年並	0					
	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20				
少ない	-3	50: : :				
	-4	60: : :				
	-5	70: : :				